



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 長野計器株式会社

上場取引所 東

コード番号 7715 URL <http://www.naganokeiki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 依田 恵夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 角龍 徳夫

TEL 03-3776-5333

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	37,089	19.3	2,328	77.2	2,485	74.7	1,512	150.1
29年3月期第3四半期	31,090	8.6	1,314	11.9	1,422	12.4	604	40.8

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,855百万円 (178.7%) 29年3月期第3四半期 1,024百万円 (157.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	78.02	
29年3月期第3四半期	31.19	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	47,713	22,393	45.7
29年3月期	44,809	19,936	43.5

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 21,810百万円 29年3月期 19,503百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		10.00		10.00	20.00
30年3月期		10.00			
30年3月期(予想)				16.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

30年3月期期末配当金の内訳 普通配当 11円00銭 記念配当 5円00銭

配当予想の修正については本日公表の「平成30年3月期の期末配当予想の修正(増配)及び設立70周年記念配当に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,205	11.3	2,839	53.5	2,965	54.3	1,978	48.6	101.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	19,432,984 株	29年3月期	19,432,984 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	45,519 株	29年3月期	45,383 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	19,387,534 株	29年3月期3Q	19,387,704 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期における世界経済は、米国においては製造業・非製造業ともに高水準を維持しており、欧州経済においても緩やかな景気拡大を維持しております。中国経済においては景気に減速感があるものの内外需とも底堅く、世界経済全体としては緩やかな回復基調を維持しております。しかしながら米国の政治動向や東アジア地域の情勢が見極めづらい状況にあり、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

わが国経済においては、輸出の増加などを受けて生産活動が拡大基調にあり、設備投資や個人消費にも持ち直しの動きが見られます。また雇用・所得情勢は堅調に推移しており、総じて国内景気は緩やかな回復基調を維持しております。

このような状況のもと、当社グループでは、圧力計測分野においては半導体業界向や建設機械業界向、米国におけるプロセス業界向などの需要が増加し、また、自動車業界を主要取引先としているダイカスト製品の需要も増加いたしました。さらに欧州における合弁会社での稼働の貢献に加えて、7月に子会社とした(株)双葉測器製作所の売上が上乗せされたこと等により、売上高は370億89百万円（前年同期比19.3%増）となりました。損益面につきましては、売上高増加の影響により営業利益は23億28百万円（前年同期比77.2%増）、経常利益は24億85百万円（前年同期比74.7%増）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、税金費用及び非支配株主に帰属する四半期純利益の計上等により、15億12百万円（前年同期比150.1%増）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

圧力計事業

圧力計事業では、国内においては産業機械業界向、プロセス業界向の売上が減少したものの、F A空圧機器業界向、半導体業界向、空調管材業界向の売上が増加いたしました。米国子会社においては産業機械業界向、プロセス業界向の売上が増加いたしました。また、円安に伴う為替換算による増収の影響がありました。

この結果、圧力計事業の売上高は166億63百万円（前年同期比12.6%増）となりました。

圧力センサ事業

圧力センサ事業では、国内においては半導体業界向、産業機械業界向、空調管材業界向の売上が増加し、量産品である建設機械用圧力センサ、自動車搭載用圧力センサの売上も増加いたしました。米国子会社においては産業機械業界向、プロセス業界向の売上が増加し、ドイツにおける合弁会社での自動車搭載用圧力センサの売上も増加いたしました。また、圧力計と同様に円安に伴う為替換算による増収の影響がありました。

この結果、圧力センサ事業の売上高は108億98百万円（前年同期比29.9%増）となりました。

計測制御機器事業

計測制御機器事業では、自動車業界向圧力発生装置及び電力業界向油圧ポンプユニットの売上が増加し、自動車・電子部品関連業界向のエアリークテスター及び工場生産自動化設備用の空気圧機器の売上も増加いたしました。また、7月に子会社とした(株)双葉測器製作所による重錘形圧力天びんの売上が上乗せされました。

この結果、計測制御機器事業の売上高は42億50百万円（前年同期比22.0%増）となりました。

ダイカスト事業

ダイカスト事業では、自動車業界を主要取引先としているダイカスト製品の売上が増加いたしました。

この結果、ダイカスト事業の売上高は36億18百万円（前年同期比29.2%増）となりました。

その他事業

その他事業では、自動車用電装品の売上が増加いたしました。

この結果、その他事業の売上高は16億57百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は477億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億4百万円増加いたしました。主な要因は、投資有価証券の時価評価及びたな卸資産の増加によるものであります。

負債は253億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億47百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加及び長期借入金の減少によるものであります。

また、純資産は223億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億57百万円増加いたしました。主な要因は、その他有価証券評価差額金及び利益剰余金の増加によるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比2.2ポイント増の45.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年11月9日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想を修正しました。

詳細については、本日(平成30年2月9日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,675,196	5,715,000
受取手形及び売掛金	9,409,762	9,863,965
電子記録債権	1,107,524	1,484,135
たな卸資産	7,885,117	8,796,460
繰延税金資産	530,961	423,567
その他	1,552,537	1,051,181
貸倒引当金	△182,660	△185,319
流動資産合計	25,978,439	27,148,990
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,572,148	10,773,304
減価償却累計額	△8,341,002	△8,487,768
建物及び構築物(純額)	2,231,146	2,285,535
機械装置及び運搬具	18,397,913	18,642,206
減価償却累計額	△16,262,996	△16,492,116
機械装置及び運搬具(純額)	2,134,917	2,150,090
土地	4,388,590	4,488,468
リース資産	775,022	793,275
減価償却累計額	△281,874	△331,775
リース資産(純額)	493,147	461,500
建設仮勘定	495,140	714,928
その他	4,058,826	4,142,104
減価償却累計額	△3,901,051	△3,945,011
その他(純額)	157,774	197,092
有形固定資産合計	9,900,717	10,297,615
無形固定資産		
のれん	—	75,088
リース資産	201,804	158,384
その他	670,167	584,133
無形固定資産合計	871,972	817,606
投資その他の資産		
投資有価証券	6,097,092	7,874,445
長期貸付金	417,157	71,160
退職給付に係る資産	18,872	34,071
繰延税金資産	479,210	385,304
その他	1,132,508	1,158,873
貸倒引当金	△86,826	△74,417
投資その他の資産合計	8,058,014	9,449,438
固定資産合計	18,830,703	20,564,659
資産合計	44,809,143	47,713,650

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,243,481	4,993,957
短期借入金	5,796,973	6,083,966
1年内返済予定の長期借入金	1,482,880	1,436,479
リース債務	166,791	155,144
未払法人税等	940,295	701,228
賞与引当金	794,338	637,587
その他	2,674,479	2,269,427
流動負債合計	16,099,239	16,277,792
固定負債		
長期借入金	4,833,275	4,516,919
リース債務	506,549	447,912
繰延税金負債	840,335	1,378,628
役員退職慰労引当金	209,573	215,169
退職給付に係る負債	2,272,783	2,361,414
資産除去債務	32,949	32,949
その他	78,155	89,352
固定負債合計	8,773,621	9,042,345
負債合計	24,872,861	25,320,138
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,380,126	4,380,126
資本剰余金	4,448,737	4,448,737
利益剰余金	9,245,995	10,370,956
自己株式	△26,962	△27,081
株主資本合計	18,047,896	19,172,739
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,268,298	3,475,397
為替換算調整勘定	△318,552	△384,657
退職給付に係る調整累計額	△494,175	△452,795
その他の包括利益累計額合計	1,455,569	2,637,944
非支配株主持分	432,815	582,828
純資産合計	19,936,281	22,393,512
負債純資産合計	44,809,143	47,713,650

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	31,090,880	37,089,104
売上原価	22,372,539	26,377,691
売上総利益	8,718,341	10,711,412
販売費及び一般管理費	7,404,177	8,382,719
営業利益	1,314,164	2,328,693
営業外収益		
受取利息	36,598	39,728
受取配当金	111,872	103,308
為替差益	7,803	56,609
持分法による投資利益	40,155	101,799
その他	202,575	106,987
営業外収益合計	399,005	408,433
営業外費用		
支払利息	146,241	163,013
その他	144,506	88,887
営業外費用合計	290,747	251,900
経常利益	1,422,422	2,485,226
特別利益		
固定資産売却益	4,766	307
関係会社出資金売却益	—	47,219
受取保険金	505,600	—
特別利益合計	510,366	47,526
特別損失		
固定資産売却損	845	15,951
固定資産除却損	6,818	37,706
減損損失	15,368	—
訴訟和解金	758,400	—
関係会社出資金評価損	—	20,771
特別損失合計	781,432	74,429
税金等調整前四半期純利益	1,151,357	2,458,323
法人税、住民税及び事業税	365,073	613,695
法人税等調整額	84,517	178,248
法人税等合計	449,591	791,943
四半期純利益	701,765	1,666,379
非支配株主に帰属する四半期純利益	97,038	153,667
親会社株主に帰属する四半期純利益	604,727	1,512,712

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	701,765	1,666,379
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	921,018	1,209,225
為替換算調整勘定	△587,044	△65,392
退職給付に係る調整額	73,247	41,380
持分法適用会社に対する持分相当額	△84,434	4,326
その他の包括利益合計	322,787	1,189,540
四半期包括利益	1,024,553	2,855,920
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	936,941	2,695,927
非支配株主に係る四半期包括利益	87,611	159,992

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	圧力計	圧力センサ	計測制御 機器	ダイカスト	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	14,803,512	8,386,807	3,485,525	2,800,153	29,475,999	1,614,881	31,090,880	-	31,090,880
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	839	22,688	400	-	23,928	184	24,112	△24,112	-
計	14,804,352	8,409,495	3,485,925	2,800,153	29,499,927	1,615,065	31,114,993	△24,112	31,090,880
セグメント利益	168,521	541,751	163,514	349,168	1,222,955	84,701	1,307,657	6,507	1,314,164

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び自動車用電装品事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額6,507千円は、セグメント間取引消去の金額となります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	圧力計	圧力センサ	計測制御 機器	ダイカスト	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	16,663,706	10,898,070	4,250,655	3,618,925	35,431,358	1,657,745	37,089,104	—	37,089,104
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	770	2,933	751	—	4,455	119	4,574	△4,574	—
計	16,664,477	10,901,004	4,251,407	3,618,925	35,435,814	1,657,864	37,093,678	△4,574	37,089,104
セグメント利益	414,597	893,796	408,536	546,855	2,263,786	57,537	2,321,324	7,369	2,328,693

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び自動車用電装品事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額7,369千円は、セグメント間取引消去の金額となります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「計測制御機器」セグメントにおいて、第2四半期連結会計期間より(株)双葉測器製作所の株式取得による連結子会社化に伴い、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において83,432千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

第1四半期連結会計期間から、「その他」に含まれていた「ダイカスト」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。